

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第38週(令和8年9月14日～令和8年9月20日)

＜発生動向＞
第38週の定点当たり報告数は、インフルエンザが4.09、ヘルパンギーナが1.15、急性呼吸器感染症(ARI)が75.39と前週より増加しています。
また、腸管出血性大腸菌感染症の報告が3件ありました。9月以降に報告が続いています。腸管出血性大腸菌感染症は、全く症状のないこともあります。子どもや高齢者では、重篤な合併症を起こすことがあり、時には死に至ることもあります。腸管出血性大腸菌は、牛など動物の腸管にいる菌で、生のままか加熱不十分な肉や菌に汚染された食品を介して感染します。この菌は加熱により死滅します。調理する際は、「中心部までしっかり加熱」、「生肉を触ったトングで焼いた肉を取り分けしない」、「生肉を扱う箸と食べる箸を分ける」ようにしましょう。調理前、生肉を触った後、食事前、排せつ後、おむつ替え後は石けんと流水でよく手を洗いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	126	11	575	265	10,488
腸管出血性大腸菌感染症	3	38	6	165	148	3,090
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	6	1	45	11	659
梅毒	1	91	12	527	163	8,158
百日咳	1	29	8	214	57	4,338

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	16	0.70	0.39	89	0.73	9,122	2.44
インフルエンザ	94	4.09	3.70	652	5.34	20,697	5.54
急性呼吸器感染症	1,734	75.39	48.43	7,732	63.38	208,242	55.87
RSウイルス感染症	32	2.46	3.00	133	1.90	2,522	1.12
咽頭結膜熱	10	0.77	0.62	59	0.84	546	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.31	1.46	141	2.01	3,280	1.46
感染性胃腸炎	87	6.69	8.77	392	5.60	8,555	3.80
水痘	2	0.15	0.38	27	0.39	369	0.16
手足口病	4	0.31	0.38	71	1.01	3,278	1.45
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	0	0.00	63	0.03
突発性発しん	4	0.31	0.54	29	0.41	690	0.31
ヘルパンギーナ	15	1.15	0.23	44	0.63	2,255	1.00
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	6	0.09	114	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
流行性角結膜炎	8	1.33	2.00	93	3.58	455	0.66
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	2	0.13	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	4	2.00	1.50	4	0.27	210	0.44
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	9	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	3	0.01

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。
※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。
○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。